

専門職の視点からの アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは「人生会議」とも称され、ご本人とご家族等の信頼できる人たち、医療従事者や介護提供者などと一緒に、現在の病気だけでなく、意思決定能力が低下する場合に備えて、あらかじめ今後の医療やケアについて繰り返し話し合うことや、本人に代わって意思決定をする人を決め、話し合いの内容を共有する取り組みのことを言います。

ACPIにおいて最も重要な情報は、ご本人やそのご家族が、残された時間を・どこで・どのような生活をし・何を楽しみに・何を大切にしたいのかということです。

今回は専門職の視点から、リハビリテーション専門職である理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)がどのような支援を行っているのかを紹介します。

例えば、

- ▶「背中や腰が痛くて寝るのもつらい!」・・・関節や筋肉が硬くならないよう運動を行ったり、痛みや息苦しさの軽減ができる呼吸方法や姿勢、動作の仕方を指導します。
- ▶「最後までトイレに行きたい!」・・・今の力で安全・安楽に動ける方法を考えたり、段差解消や手すりの設置、家具の配置換えを提案します。
- ▶「家族と一緒に旅行に出かけたい!」・・・安全な移動手段を提案したり、ご家族など介助される方に色々な介助方法をアドバイスします。
- ▶「食べ物が飲み込みにくくなってきた!」・・・飲み込みの評価や練習、また食事の姿勢や食事形態などのアドバイスをを行います。

このように、最期までご本人やご家族の望む生活が送れるよう、チームの中でリハビリテーション専門職がそれぞれの特性を活かした関わりを行い、多職種と情報共有をしています。

私たちが提供できる技術や知識を発揮し、ご本人・ご家族の希望する人生が送れるよう最善の方法を提供、支援していきたいと考えています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の専門性をご理解いただくことで、相談していただける機会が多くなれば幸いです。



<情報提供> (一財)共愛会 芳野病院リハビリテーション科理学療法士 岡安 一樹

■お問い合わせ先

鏡野町保健福祉課 介護保険係 担当:和田 電話(0868)54-2986 FAX(0868)54-2891